

令和6年度 第1回 小金井市立緑中学校 学校運営協議会 議事録

1 開催日時 令和6年5月15日(水) 午後3時から

2 場所 本校1階会議室

3 出席者

委員	小林 浩	学校支援地域本部 地域コーディネーター
委員	高橋 秀樹	青少年健全育成北部地区委員会 会長
委員	小山 茂	保護司
委員	八木 尚子	民生児童委員 緑小地域コーディネーター
委員	塩原 真一	本校校長
委員	蓮沼 喜春	本校副校長
オブザーバー	伊藤 弘美	三小放課後子供教室コーディネーター 地域コーディネーター
オブザーバー	吉田 路子	緑小放課後子供教室コーディネーター 地域コーディネーター
説明員	小川 拓	本校教務主任
説明員	瀬沼 将己	本校生活指導主任
説明員	橋本 一彰	本校進路指導主任
説明員	鈴木 史子	本校特別支援教育コーディネーター
書記	三上 悟	

4 傍聴人数 0名

5 協議内容

① 校長挨拶

- ① 本日、第1回定期考査最終日
- ② 体育会に向けて、業者を入れて校庭の整備
- ③ 今年度、大幅に教員が入れ替わった。

② 地域コーディネーターの紹介

③ 令和6年度学校経営方針について

- ① 「目指す教師像」…組織人として機能する。
- ② 「指導の重点」…人権尊重教育について、令和6、7年で重点校として進めていく。

④ 本校の状況について

- ① 主な年間行事予定について
 - ・土曜授業、学校・学年の行事日程の確認

- ② 学校生活の様子
 - ・4月のふれあいアンケートの結果…嫌な思いをした20件。対応済み。
 - ・今年度から標準服の変更…今のところ、混乱はない。衣替えを無くしていく方向で、指導している。生徒の主体性を見ていく。
- ③ 令和5年度の進路状況
 - ・211名全員が進路を確定させた。私立高校志望が増えた。都立推薦は難しかった。
- ④ 特別支援教育の状況
 - ・今年度は74名が利用、本校は20名が利用。1年生、cosmos教室の利用に抵抗はない。
 - ・学習支援、不登校対策として、別室指導2,3年生で10名。
 - ・昨年度、別室支援を受けた生徒の中で、教室復帰を果たした生徒もいる。ただし、疲れてしまうことを配慮して、枠は空けている。

(補足) 不登校加配についての都教委からの通達について。

⑤ 学校評価の進め方について

- ① 7月中に第1回のアンケートを実施する予定。12月に第2回のアンケート。
- ② 昨年度実施のアンケートについて、設問についての改善意見があったので、いくつかの設問の修正をしている。
- ③ 設問内の「協働」について、見えにくいのではないか。
- ④ 「道徳教育」について、家庭から見えるものが少ない。回答が難しいのではないか。

⑥ 地域学校協働本部の活動の方向性について

- ① 本校の取り組みの一つとして、「放課後カフェ」。今年度は職場体験学習での取り組みにも関われないだろうか。
- ② 職場体験学習の概要の説明
- ③ 昨年度の職場体験の反省
 - ・事業所の確保…偏りがある。福祉が多い。需要と供給がかみ合っていない。
 - ・半年の体験準備期間中に体験先の都合が変わる場合がある。
- ④ 今年度の職場体験の取り組みについて
- ⑤ 学校支援地域本部の考え方
 - ・最大限のサポートをする。
 - ・窓口は1つにすることは徹底したい。
 - ・学校支援地域本部の中では、情報の引継ぎができています。
 - ・生徒の発表を地域に還元する案。
 - ・保険の対象の確認をしておく。

⑦ その他

- ① 学校運営協議会の日程について(案)